

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	食卓八景 ーつながりのリビングをつくる会
現在の主な活動 内容・活動実績	2020年秋に本提案グループのメンバーが中心となって企画し、金沢区の飲食店が一同に会したマルシェイベント「ENJOY LOCAL八景市場」を実施しましたが、それをきっかけに今回整備提案を行う「八景市場ANNEX」のスタートアップ活動を進めています。具体的な内容は以下の通りです。 ① 対象物件の耐震補強工事・地域住民らとのDIYによる空間整備 ② 地域拠点の理想像について話し合う“考えるワークショップ”の実施 ③ 「フリーコーヒー」等の拠点の認知度を高める実験的イベントの実施 ※ 金沢区空き家等を活用した地域の「茶の間」支援事業に採択されました。
提案場所	金沢区釜利谷東1丁目
提案名 (25字以内)	八景市場ANNEX ー 自らつくり、つながる場所
提案する施設（どのような施設の提案ですか）	八景市場ANNEXは築約50年の空き家を再生した学生シェアハウスでありながら、そのリビングやキッチン等の共用部をまちに開放することで、誰もが気軽に立寄り、他者とつながることのできる地域の多世代交流拠点です。 1) 道行く人がふらっと立ち寄れる「大きな縁側」 道行く人々が立ち寄り、他愛もない話ができる縁側空間を設けます。 2) 共用部での多様な活動が外に溢れ出す「大きな窓」 キッチン等の共用部での活動が外から見える大きな開口部を設置します。 3) 屋外活動の場となる「協働の庭」 シェア農園等の屋外活動がみんなで一緒に行える空間を整備します。 整備費用の概算額：約500万円
活用イメージ（提案する施設でどのようなことを行いますか）	地域の人々が“日常的にふらっと立ち寄れる”場として空間を開放します。そこではコーヒーを飲んだり、本を読んだり、会社でやり残した仕事を片付けたら、訪れた人の自由な使われ方を想定します。また貸しスペースとしての活用も想定し、①子ども向けの習い事や、整体・マッサージ等の地域の方々による小規模事業、②毎年開催される「小泉塾」のような町内会主催の行事、③提案グループ企画の各種イベントのための場として活用します。
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	人口減少社会を迎え、地域の担い手不足が課題となっており、横浜市の中でも特に金沢区は厳しい状況にあります。また新型コロナウイルスの影響で都心部での活動や都市間の大きな移動が難しくなる中、身の回りのローカルな生活環境をいかに豊かにできるかが今後重要になり、そこでは地域が自らの手でそのエリアの価値を高める活動が求められています。一方でこの地域には古くからの歴史・文化、豊富な自然環境、近隣には企業や研究教育機関も立地し、子どもから高齢者まで多様な世代の活動と豊かな暮らしの環境が存在します。そうした地域のポテンシャルが世代を超えた人々の交流によって顕在化され、まち全体の価値向上に繋げられるものと思われま。

<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたと考えますか）</p>	<p>本提案の施設を“つくる”活動を共にすることで、「地域は自分たちの手でより良くできるんだ」という人々の気運を醸成し、様々な新しい試みが各所で展開されるような活発でチャレンジングな地域の将来像を描いています。既に提案対象物件から徒歩2分程度の距離にある廃園となった幼稚園は2021年度より子育て拠点としての活用が始まっており、本プロジェクトとも連携をとって互いの活動の相乗効果を狙っています。こうした地域での諸活動をネットワーク化することでまちの価値をより高めることを目指します。</p>
<p>整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<p>これまでに任意団体である「食卓八景」を中心に、町内会や建築設計の専門家、大学教育機関、子育て拠点の代表、ローカルメディア、生産・製造・販売など様々な立場の地元企業と連携して、最小限の費用で行える対象物件の空間の整備を行ってきました。その活動は金沢区の「空き家等を活用した地域の「茶の間」支援事業」にも採択され、金沢区の支援も多く頂いてきましたが、今後も本プロジェクトの輪を広げ、より多くの方々に関わってもらいながら空間の整備を行います。</p>
<p>運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<p>① 近隣の廃幼稚園を活用して子育て拠点を運営している子育てサークル「金沢区ママ」と連携し、各種協働イベント等を企画・開催します。 ② 釜利谷地域ケアプラザとの連携を取ります。現在、八景市場ANNEXの空間を活かした日常利用についての計画・検討を進めています。 ③ 茶の間事業採択をきっかけに繋がった近隣のコミュニティサロンとの交流会が定期的実施され、様々な情報を交換することができます。 ④ 同地区に建築設計・まちづくりの専門家が住んでいるため、運営を進める中で必要が生じる空間整備について随時助言・支援が受けられます。 ⑤ 磯子区・金沢区の「タウンニュース」をはじめとするローカルメディアとの連携を取り、活動を随時発信します。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	<p>1) 自らの手で少しずつ環境を整え、その活動を通して互いに繋がる 本提案の整備後も、必要に応じて庭のベンチを作ったり、室内の壁を塗ったり、自分たちの空間は自分たちの手でつくるというコンセプトのもと、地域の方々と一緒に「八景市場ANNEXをつくるワークショップ」を実施し、つくる活動を通して主体性のあるコミュニティづくりを行います。 2) あるべき八景市場ANNEXの将来像を「考えるワークショップ」の実施 町内会との連携を取り、2021年4月から八景市場ANNEXを今後どのように整備すべきかを話し合う「八景市場ANNEXを考えるワークショップ」を開始していますが、整備に向けて今後も月に1回の頻度で実施する予定です。 3) シェアハウスの経営と組み合わせた持続的な施設運用計画 本提案の施設に関わる維持費や運営費の一部はシェアハウスとしての家賃収入で賄います。また貸しスペース事業をはじめとする施設運用から生まれる収益を住人である建築学生にフィードバックする仕組みとすることで、日々の掃除をはじめとする施設の管理を継続的に行う体制を整えています。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
提案代表者の親族	土地・建物の供出を含め、全面的に協力する。

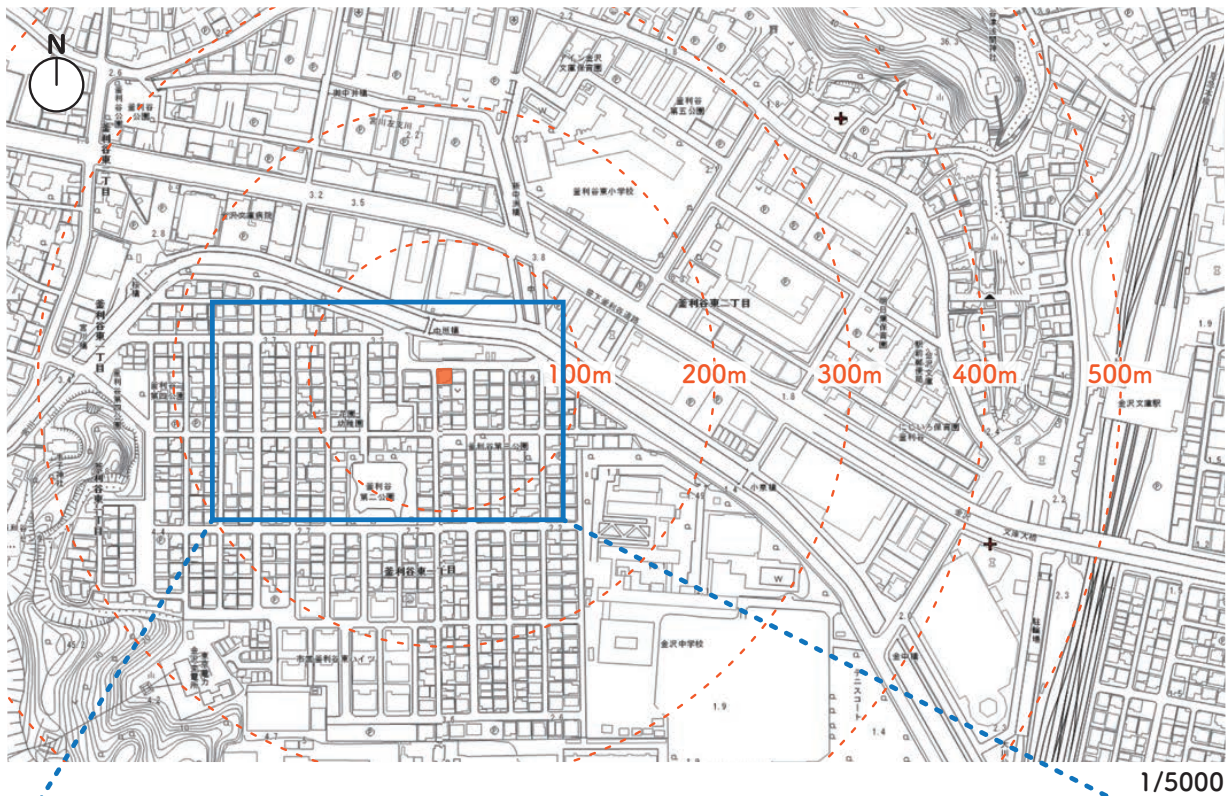
注5)土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

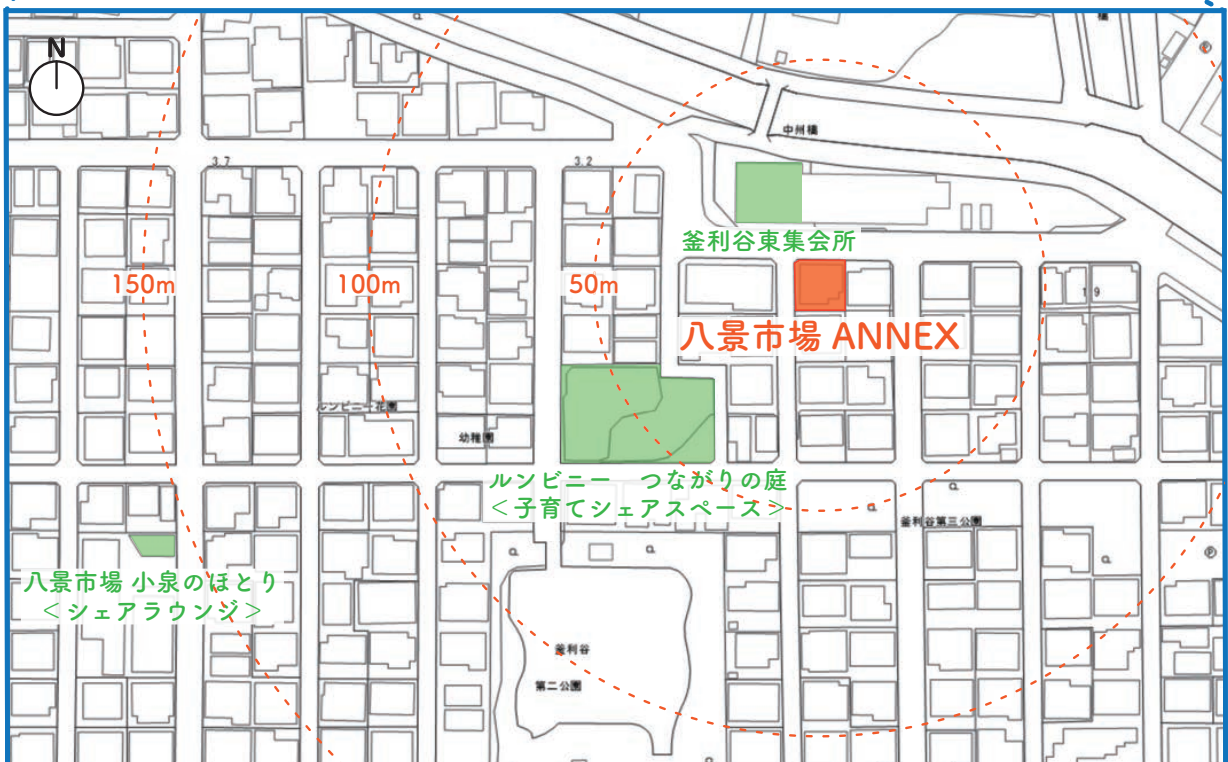
- ✓ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ✓ 記載内容に個人情報はありません。

位置図

八景市場 ANNEX - 自らつくり, つながる場所

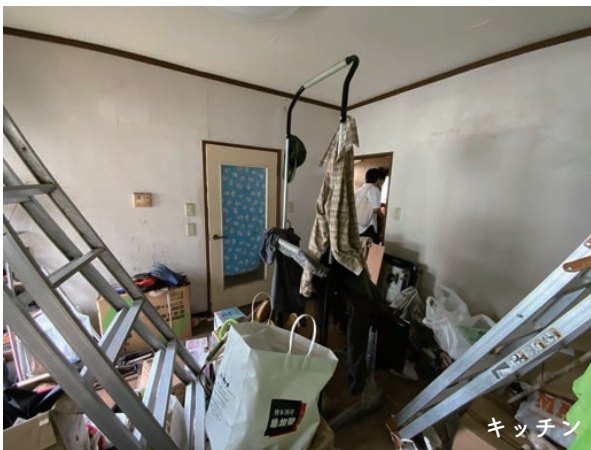


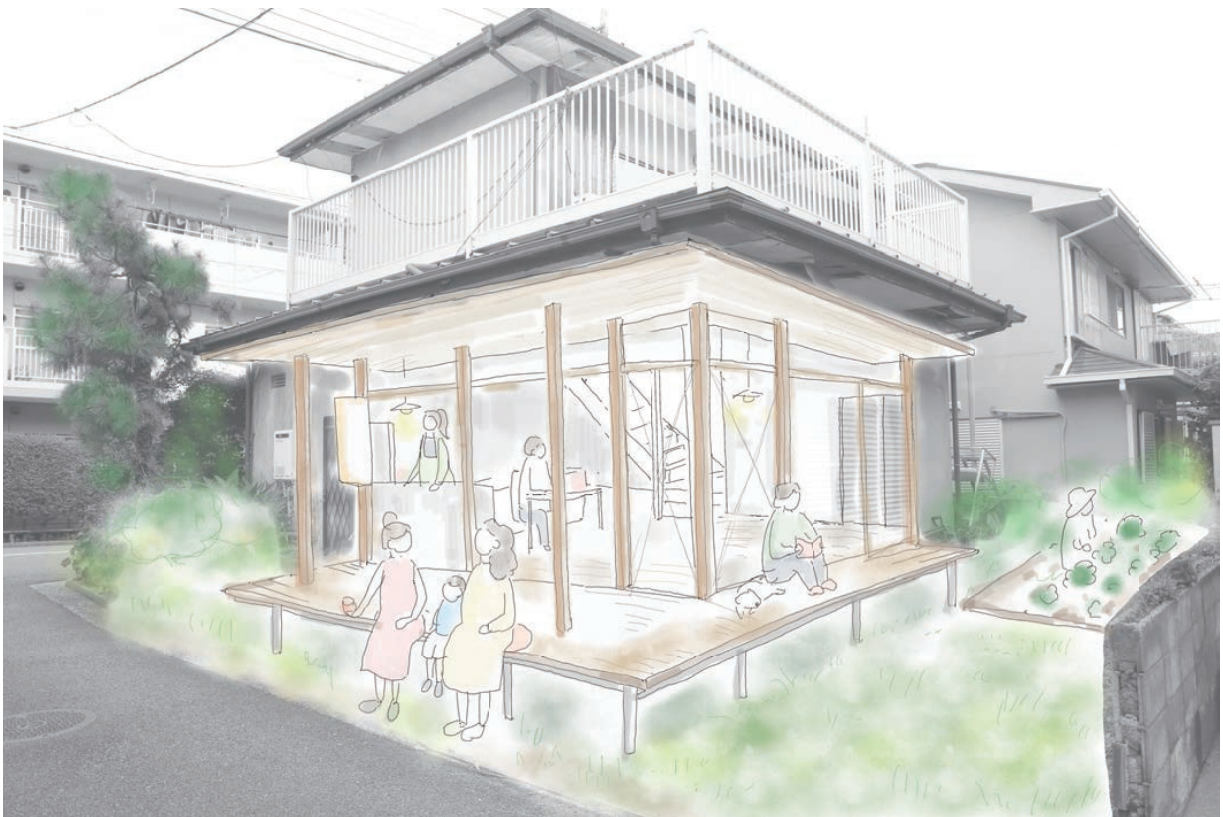
1/5000



住所：横浜市金沢区釜利谷東1丁目

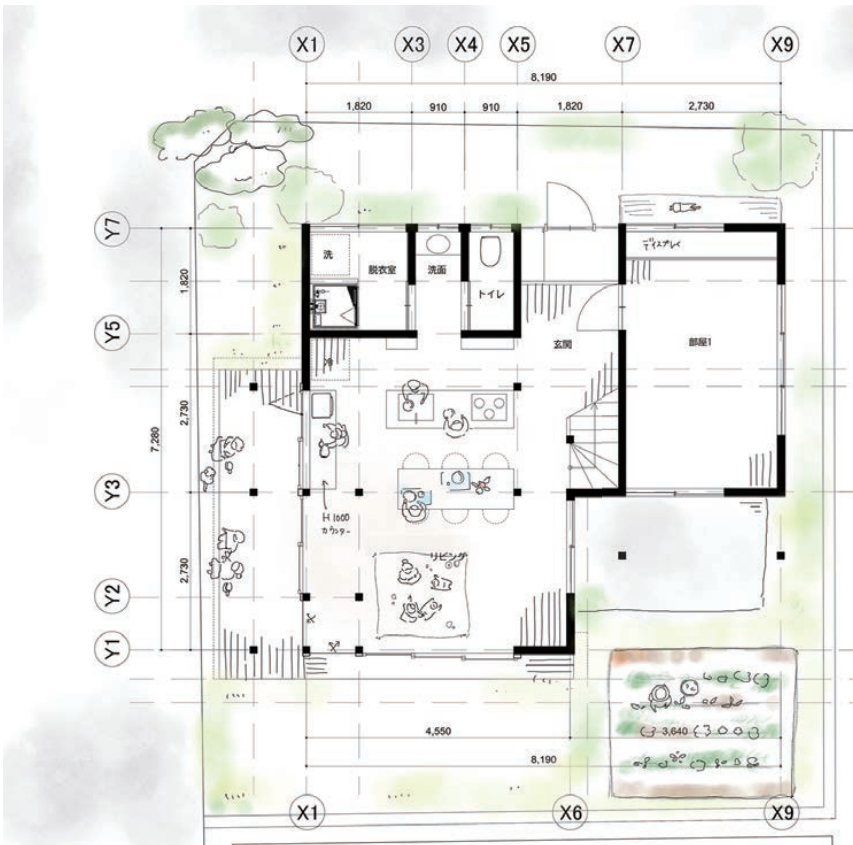
1/1500





▼ 整備後の1F平面図

▲ 整備後の南西側外観イメージ



▲ 模型写真

□ これまでの活動

2020

09.17 物件調査

10.10 DIY解体ワークショップ 01

10.17 DIY解体ワークショップ 02

11.07 ENJOY LOCAL 八景市場

11.08



DIY解体ワークショップ 01

「ENJOY LOCAL 八景市場」当日の風景

12.12 DIY解体ワークショップ 03

12.23 小泉町内会へのプロジェクトの説明

2021

02.01 耐震改修工事



DIY解体WS 02



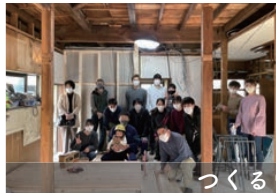
耐震改修工事



町内会へのプロジェクトの説明

03.20 つくるワークショップ 01

03.28 耐震改修お披露目会



つくるワークショップ 01



耐震改修お披露目会

04.19 考えるワークショップ 01

05.22 つくるワークショップ 02

05.23 考えるワークショップ 02

05.19 つくるワークショップ 03 (予定)

06.26 考えるワークショップ 03 (予定)



考えるワークショップ 01



考えるワークショップ 02



つくるワークショップ 02



WSのニュースレター



WSの成果のまとめ